

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12
(1) 決算概要	12
(2) 連結子会社数・持分法適用会社数	12
(3) 1株当たり四半期純利益	12
(4) 平均為替レート (円)	12
(5) 部門別売上高	12
(6) 部門別営業利益	12
(7) 海外売上高	12
(8) 研究開発費	13
(9) 設備投資額	13
(10) 減価償却費、支払リース料	13
(11) 期末従業員数 (定期社員除く)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2022年度は、2023年度を最終年度とする中期経営計画「令和・Prosperity2023」の達成に向けた重要な1年となります。2023年度売上高目標1兆円の達成、営業利益率については、2021年度の8.2%を更に向上させるため、パワエレ事業、パワー半導体事業の拡大を中核とする「成長戦略の推進」、グローバルでのものづくり力強化による「収益力の更なる強化」、および、ESG（環境、人財、ガバナンス）を中心とした「経営基盤の継続的な強化」を推し進めています。

当第1四半期連結累計期間における当社を取り巻く市場環境は、脱炭素化に向けた世界各国の取り組みやデジタル化の加速を背景に、自動車の電動化、省エネ、デジタルインフラ等のニーズが高まり、製造業やデータセンター等の設備投資が高水準で推移しました。その一方で、新型コロナウイルス感染拡大による中国のロックダウンやウクライナ情勢の長期化による素材価格の高騰や資材不足等、世界のサプライチェーンに影響が拡がり、先行きが不透明な状況が継続しました。

このような環境のもと、当社は、旺盛な需要に対応したパワー半導体生産能力増強に加え、部材調達難に対する設計変更による代替部材対応や複数サプライヤー化等のサプライチェーン最適化の取り組みを継続して実施しました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績の売上高は、「パワエレ エネルギー」「半導体」「発電プラント」が増加し、前年同期に比べ140億円増加の2,039億円となりました。

損益面では、素材価格高騰の影響を受けたものの、物量の増加に加え、製品販売価格の値上げや工場の体質強化を中心とした原価低減の推進等により、営業損益は前年同期に比べ46億円増加の99億円となりました。経常損益は前年同期に比べ64億円増加の123億円、親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期に比べ50億円増加の99億円となり、売上高、営業損益、経常損益いずれも、過去最高を更新しました。

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は次のとおりです。

(単位：億円)

	2022年3月期 第1四半期連結累計期間	2023年3月期 第1四半期連結累計期間	増 減
売上高	1,900	2,039	140
営業損益	53	99	46
経常損益	59	123	64
親会社株主に帰属する 四半期純損益	50	99	50

部門別の状況

《パワエレ エネルギー》

売上高：513億円（前年同期比 15%増加） 営業損益：39億円（前年同期比 29億円増加）

施設・電源システム分野及び器具分野の需要拡大を主因に、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

- ・エネルギーマネジメント分野は、前年同期の電力及び産業向け変電機器の大口案件影響等により、売上高は前年同期を下回りましたが、案件差等により、営業損益は前年同期を上回りました。
- ・施設・電源システム分野は、データセンター及び半導体メーカー向け案件の需要が大幅に拡大し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・器具分野は、工作機械をはじめとする国内の機械セットメーカーの需要が拡大し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

《パワエレ インダストリー》

売上高：652億円（前年同期比 同水準） 営業損益：▲18億円（前年同期比 22億円減少）

オートメーション分野及び社会ソリューション分野において売上高が減少したものの、ITソリューション分野の大口案件影響等により、売上高は前年同期と同水準となりました。一方、営業損益は素材価格の高騰や部材調達難による生産減、案件差等により、前年同期を下回りました。

- ・オートメーション分野は、低圧インバータやFAコンポーネントを中心に、新型コロナウイルス感染拡大による中国のロックダウン影響や素材価格の高騰、部材調達難による生産影響を受け、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。
- ・社会ソリューション分野は、船舶向けの案件が減少し、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。
- ・設備工事分野は、電気設備工事の需要が増加し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・ITソリューション分野は、民需分野の大口案件影響等により、売上高は前年同期を上回り、営業損益は案件差等により、前年同期と同水準となりました。

《半導体》

売上高：462億円（前年同期比 4%増加） 営業損益：71億円（前年同期比 15億円増加）

- ・半導体分野は、ディスク媒体事業からの撤退影響があったものの、電気自動車（xEV）向け及び産業分野向けのパワー半導体の需要拡大により、売上高は前年同期を上回りました。その結果、パワー半導体の生産能力増強に係る費用は増加したものの、高操業維持による物量の増加により、営業損益も前年同期を上回りました。

《発電プラント》

売上高：168億円（前年同期比 41%増加） 営業損益：1億円（前年同期比 8億円増加）

- ・発電プラント分野は、再生可能エネルギーの大口案件影響により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

《食品流通》

売上高：217億円（前年同期比 2%減少） 営業損益：16億円（前年同期比 14億円増加）

- ・自販機分野は、国内の需要拡大に加え、原価低減の推進等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・店舗流通分野は、前年同期の金銭機器の大口案件影響により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。

《その他》

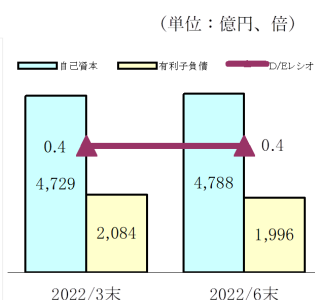
売上高：143億円（前年同期比 16%増加） 営業損益：7億円（前年同期比 3億円増加）

- (注) 当第1四半期連結会計期間より、組織構造の変更に伴い、「パワエレ エネルギー」及び「パワエレ インダストリー」の各報告セグメントにおいて、集約する事業セグメントを変更しております。
 なお、前第1四半期連結累計期間の報告セグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(2) 財政状態に関する説明

	2022/3 末	構成比 (%)	2022/6 末	構成比 (%)	増減
総資産	11,171	100.0	11,002	100.0	△169
有利子負債残高	2,084	18.7	1,996	18.1	△88
自己資本	4,729	42.3	4,788	43.5	+59
D/Eレシオ	0.4		0.4		0.0

*自己資本＝純資産合計－非支配株主持分
*D/Eレシオ＝有利子負債残高/自己資本



当第1四半期末の総資産は11,002億円となり、前期末に比べ169億円減少しました。流動資産は、現金及び預金、棚卸資産が増加した一方、売掛金の減少などを主因として、101億円減少しました。固定資産は、投資有価証券の売却、その他有価証券の時価評価差額相当分の減少などにより、68億円減少しました。

有利子負債残高は、当第1四半期末では1,996億円となり、前期末に比べ88億円の減少となりました。なお、有利子負債残高から現金及び現金同等物を控除したネット有利子負債残高は、当第1四半期末では969億円となり、前期末に比べ201億円の減少となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が減少した一方、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加などにより、当第1四半期末では5,286億円となり、前期末に比べ49億円の増加となりました。なお、純資産合計から非支配株主持分を控除した自己資本は前期末に比べ59億円増加し、4,788億円となりました。D/Eレシオ（「有利子負債残高」÷「自己資本」）は、前期末と同じ0.4倍となりました。なお、ネットD/Eレシオ（「ネット有利子負債残高」÷「自己資本」）は、前期末と同じ0.2倍となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の連結業績動向等を踏まえ、2022年4月27日の決算発表時に公表した2023年3月期通期の連結業績予想は修正しておりません。

第2四半期以降の為替レートは、120円/US\$、133円/EURO、19円/RMBを前提としています。

(第2四半期連結累計期間)

(単位：億円)

	前回発表	今回発表	増減
売上高	4,240	4,240	0
営業損益	220	220	0
経常損益	220	220	0
親会社株主に帰属する 四半期純損益	155	155	0

(通期)

(単位：億円)

	前回発表	今回発表	増減
売上高	9,600	9,600	0
営業損益	820	820	0
経常損益	830	830	0
親会社株主に帰属する 当期純損益	590	590	0

(参考：通期 部門別)

(単位：億円)

	売上高			営業損益		
	前回発表	今回発表	増減	前回発表	今回発表	増減
パワエレ エネルギー	2,360	2,360	0	221	221	0
パワエレ インダストリー	3,490	3,490	0	268	268	0
半導体	2,000	2,000	0	305	305	0
発電プラント	820	820	0	41	41	0
食品流通	920	920	0	51	51	0
その他	540	540	0	26	26	0
消去又は全社	△530	△530	0	△92	△92	0
合計	9,600	9,600	0	820	820	0